

伊根町

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

学習支援充実事業（学習支援 A I ロボットの活用）

事業の経過・背景・課題

複式学級を編制する学年においては、一方の学年を教員が指導している間、もう一方の学年には待ち時間ができてしまい、適切な指導や助言がしづらい状況にある。

取組内容

交付実績額： 210 千円

○学習支援 A I ロボットの活用

- ・小学校で複式学級を編成する2学級に1台ずつ A I ロボット配備
- ・教員が直接学習指導を行っている間、もう一方の学年で A I ロボットによる授業を展開（交互に実施）

〔 A I ロボット「ユニボ先生」〕

- ・子どもと対話しながら学習を指導する先生ロボット
- ・できれば褒めて、できなくても励ましてくれるなど、会話を通して子どもの学習意欲を促進
- ・ディスプレイ（お顔）には、問題や解答が表示され、タッチパネルとしても機能



事業の成果・今後の展望等

複式学級の、一方の学年を担当が直接指導している間、もう一方の学年の児童に対して音声と視覚で指導を行うことにより、児童の待ち時間を減少させるだけでなく、適切な学習環境を提供することができた。児童が集中力を持続させ、意欲的に学習に取り組めるよう AI ロボットを活用し、学力向上を図る。

問い合わせ先

伊根町教育委員会（0772-32-0718）

伊根町

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

読書支援サービス導入事業

事業の経過・背景・課題

伊根町内の全ての小中学校がへき地学校もしくはへき地に準ずる学校であり、町内には書籍を購入できる店舗が少ない。町立の図書室はあるものの児童生徒が気軽に通える距離ではなく、保護者等による車での送迎が必要である。また、各学校の図書室に配架の書籍には限りがあり、児童生徒が閲覧している間、他の児童生徒は同じ書籍の閲覧ができない。

日々の授業だけでなく、I C Tの更なる利活用を図るため、1人1台タブレット端末を使用した新たな読書活動の推進に取り組む。

取組内容

交付実績額： 264 千円

- ・1人1台タブレット端末に電子書籍読書支援サービス「読書館」を導入
- ・児童生徒が同時に同じ書籍を閲覧できる、公平な読書環境の整備

〔電子書籍読書支援サービス「読書館」〕

- ・教科書採用図書や図書館選定図書など様々な蔵書がある
- ・朝読書による一斉利用やオンライン教材としてコンテンツを利用することが可能
- ・学校でも自宅でも、いつでもどこでも読みたい本が読める



事業の成果・今後の展望等

- ・児童生徒が、同時に同じ書籍を閲覧できるようになったことで、読書活動が充実した。
- ・利用頻度の低下がみられたことから、今後は、選書の種類や、他の図書施設連携事業の模索が必要である。

問い合わせ先

伊根町教育委員会（0772-32-0718）

伊根町

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

個別支援充実事業

事業の経過・背景・課題

小学校から学習のつまづきがある生徒や登校しづらい生徒に対して、きめ細かな支援を行うため、会計年度任用職員（学習支援員）を採用し、個別に学習支援を行う。

取組内容

交付実績額： 966 千円

会計年度任用職員（学習支援員）を採用



事業の成果・今後の展望等

生徒一人一人に対して丁寧に指導することにより、生徒の理解促進、学習への意欲増進につなげることができた。引き続き、きめ細かな指導を継続することにより、学力向上を図る。

問い合わせ先

伊根町教育委員会（0772-32-0718）

伊根町

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

教育支援員配置事業

事業の経過・背景・課題

小中学校とも小規模であり、児童生徒1人1人に対して、きめ細かな指導を行ってはいるが、町内に教育支援センターの設置がなく、不登校児童生徒に対して、適切な支援や学習機会の提供を図ることが難しい状況にある。

取組内容

交付実績額： 705 千円

会計年度任用職員（教育支援員）を採用、週3日、伊根小学校を拠点校として、伊根町立小中学校で勤務する。長期欠席児童生徒を支援するため、教育支援センター（当町名：サポートルーム）としての機能を果たせるよう体制を整えた。



事業の成果・今後の展望等

教育支援センター（当町名：サポートルーム）としての役割、体制を整え、不登校児童生徒への適切な支援を行い、不登校傾向の児童の登校につながった。引き続き、不登校児童生徒への適切な支援を継続することにより、児童生徒が登校しやすい体制を継続する。

問い合わせ先

伊根町教育委員会（0772-32-0718）